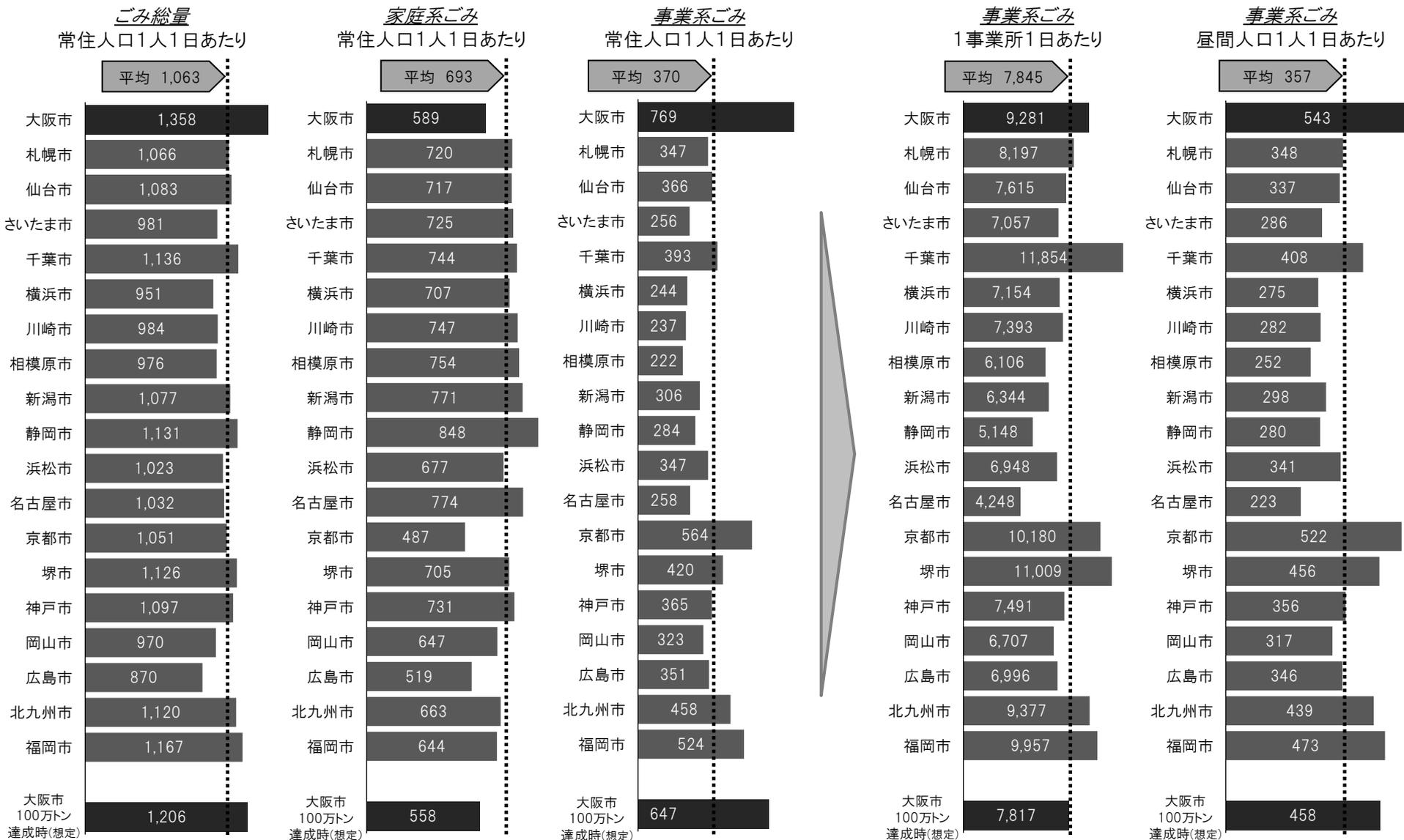


Ⅱ 現状分析

Ⅱ-1 政令指定都市のごみ量比較(2009年度実績)

大阪市では、事業系ごみの占める割合が高いため、常住人口1人1日あたりのごみ量は他都市と比べて多いが、家庭系ごみでは、平均を下回っている。また、事業系ごみについても、1事業所1日あたりで比較すると、それほど突出したレベルにはない。



【参考】①2009年度ごみ処理量：118万トン〔生活系ごみ量：47万トン(環境系ごみ含む)・事業系ごみ量：71万トン〕

②大阪市100万トン達成時のごみ処理量(想定)：98万トン〔生活系ごみ量：38万トン(環境系ごみ含む)・事業系ごみ量：60万トン〕

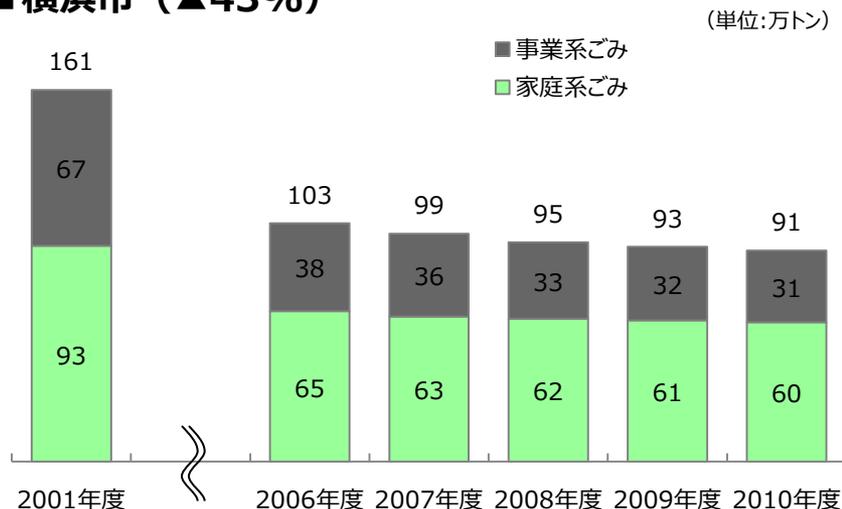
※出典 「人口」「ごみ量」⇒環境省廃棄物処理技術情報 「一般廃棄物処理実態調査結果(2009年度)」
「事業所数」⇒総務省統計局 「2009年経済センサス-基礎調査」 「昼間人口」⇒総務省統計局 「2005年国勢調査」

〔単位:g/人(事業所)・日〕

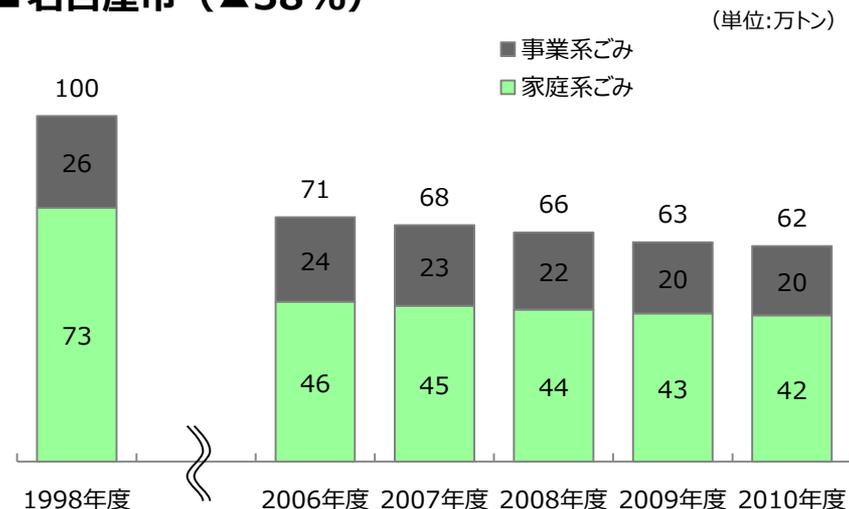
II-2 ごみ減量の推進(他都市比較)

横浜市・名古屋市・大阪市のいずれもピーク時と比較して、4割前後ごみを減らしている。

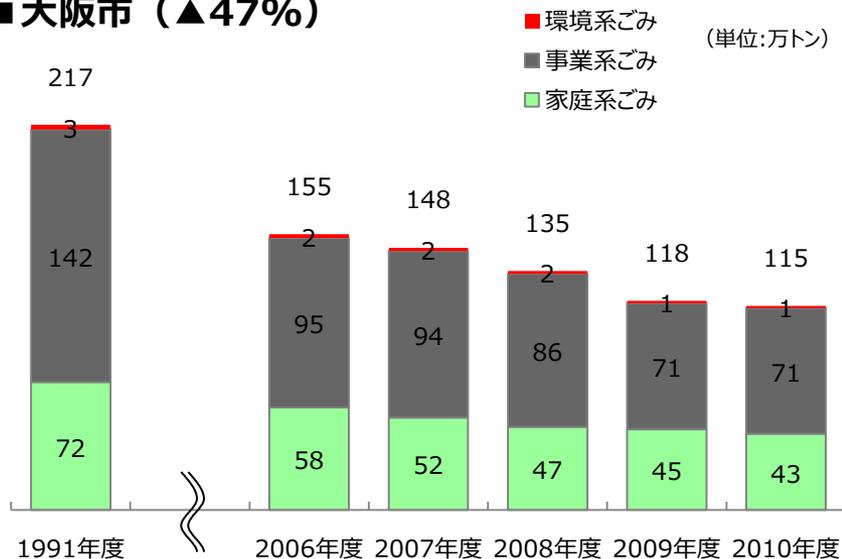
■横浜市 (▲43%)



■名古屋市 (▲38%)



■大阪市 (▲47%)



注: 各数値は四捨五入しているため合計があわない場合があります

資料: 大阪市環境局調べ